

平成26年度優良PTA
文部科学大臣表彰受賞団体



障がいのある 子どもたちを 災害から守る!



災害時に子どもを親に引き渡す訓練

私たちのPTAでは日頃から、災害時に障がいのある子どもたちを守るための備えを進めています。

障がい児を知ってもらう

平成24年度には、県特別支援学校PTA協議会の事務局として、「大震災 家族のサバイバル～あのととき何が起こったか～」と題して、障がい者の立場に立った防災講演会を行い、会員等の意識を高めました。

また、災害発生時に子どもたちが一般の避難所に避難した場合の対応について、会員にアンケート調査を行いました。その結果、「子どもの情緒不安定な行動で周囲に迷惑を掛けてしまう」「過敏な反応、他者とのかかわりなどでの問題」等、周囲に理解してもらえないのではという保護者の不安が浮き彫りになりました。

これを踏まえて、桐生市長を招いた「笑顔のふれあいトーク」を実施し、災害発生時の障がい児への対応について、市長と直接意見

交換を行いました。その結果、地域や行政の障がい児に対する理解が深まり、災害時には子どもたちが優先して校舎を避難所として利用できることの確認ができました。

学校での備え

こうした活動の一方で、災害発生時の子どもたちの引き渡し訓練の実施や防災マニュアルの見直しを行いました。

また、災害が起きて子どもたちがすぐに家に帰れず、1日程度学校で過ごすことになった時に備えて非常食も備蓄しています。本校の子どもたちの特性を考えると、一般的な非常食では対応できない場合があるため、日持ちがして個々の子どもが食べられるものを、それぞれの家庭から持ってきてもらい、1か所にまとめて保管するなど、災害への備えを学校と家庭とが一体となって推進しています。



子どもたちの備蓄を保健室に集めてあります。

あそこのPTA

優良PTAの紹介

どんなことをやってるんかねえ

このページでは、県内の学校のPTAの活動を紹介していきます。
シリーズ2回目の登場は、桐生市立特別支援学校と、千代田町立東小学校です。
ぜひ、あなたの住む地域のPTA活動の参考にしてください。

親子のふれあいや 地域との交流を大切に!

私たちのPTAでは、親子のふれあいや地域との交流を積極的に推進しています。その代表的なものが「親子活動」です。

東小レストラン

1年生は昔遊び、2年生は成長のアルバム、3年生は大豆料理、4年生はなべ料理、5年生はかまどご飯炊き・親子カレーづくり、6年生は東小レストランと、それぞれの学年独自の学習を、PTAで支援しています。

6年生の東小レストランでは、メニューやレシピを子どもたち自身が考え、ハンバーグやオムライス、ティラミスなど、約20種類の料理を分担してつくります。



子どもたちのつくった料理のお味は…?

毎年2月中旬頃の実施しますが、事前の冬休みには、各家庭で親子一緒に試作しています。

当日は、日頃お世話になっている米づくりの地主さんや老人会、民生・児童委員さんたちも招待して、バイキング形式の賑やかなレストランが開店します。健康によい食事を意識する習慣を身につけさせるだけでなく、地域の方への感謝の心を育てることもねらいとした活動です。

親子で行う多彩な活動

PTA主催の「親子ふれあいコンサート」「親子ドッジボール」を実施しています。また、毎年2回、学校周辺の親子除草作業を行っています。同時に古紙回収も行い、その収益金を親子活動に活用しています。

東小レストランへようこそ!

平成26年度優良PTA
群馬県教育委員会表彰受賞団体

